

高知県長岡郡本山町議会

1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

議会基本条例の制定

本議会は、平成23年4月から議会基本条例の策定に着手した。平成23年12月定例会において議員発議により全会一致で可決し、翌1月1日より施行している。

本条例の施行により、政策水準を高めるために積極的に情報共有を図るとともに一般質問の形式を一問一答方式とし、論点・争点を明らかにするため町長等の反問権を認め、監視機能だけでなく、競い合い協力し合うなどお互いに切磋琢磨しながら町政を運営している。

また、議会は言論の府であることを認識し、公平性と透明性の下、議員間の自由かつ達な討議により議論を尽くし合意形成を図るための自由討議を拡大し、常に自己研さん・資質向上に努めている。

本条例が定めている住民との懇談会の開催では、平成24年4月、平成25年4月に議会報告会を開催した。議員が、住民目線に立った議会を目指すため、直接地域に出向き住民と意見交換により、地域が持つ課題や問題点を共有することができた。また、それらを議会活動に活かすことにより、地域の活性化につながる取り組みとなっている。

2 住民に開かれた議会

① 議会広報誌の発行

議会活動を公正で客観的にとらえ、町民に解り安く読みやすい紙面づくりに取り組んでいる。毎定例会後6名で構成する広報編集委員会を開き、編集作業を実施している。

② 議会中継

平成24年6月定例会より、平成21・22年度に整備した告知放送を利用し、開会日の全日程と一般質問を音声で中継している。議会傍聴が出来ない住民の方からは、議会での議員そして町長以下執行部それぞれの発言が聞けるようになったと大変好評である。

また、各定例会前には、告知放送により議会日程と一般質問をする議員名と質問順を放送し、併せて、議会傍聴を呼びかけている。

③ 議会報告会

議会基本条例で毎年1回以上の開催を義務付けており、本年度で2回目となる。住民の方からは、地域の課題や問題点を議会に直接届け④子ども議会の開

催本町においては、人口減少から派生する問題は深刻であり、こうした状況を打開するためには将来、郷土を愛し支え、発展に寄与する人材の育成は急務であるということから、教育委員会と本山町が主催する子ども議会を本年度で11回開催している。本年度においても、本町の小中学校から各2名、県立嶺北高等学校から2名計8名の子ども議員が、観光・防災・産業振興・後継者の育成・高齢者福祉などにわたり行政の取り組みについて、質問を行った。

本町の課題・問題点に関心を持ってもらうこうした取り組みは、児童生徒の教育的な活動のみならず、今後地域を担う人材確保の一手段としても非常に重要なものとなる。